

かがやき

発行責任者 赤井 敏博
文責 中野 敦子

◇晩夏から秋へ。

夏休みを終え、2学期が始まったと思ったらすぐに体育大会練習&本番。夏休みどうでしたか？なんて会話をする間もないほど忙しい毎日でしたね。

改めて・・・夏休みはどうでしたか？計画的に過ごしましたか？充実していましたか？1年生にとっては初めての夏休み、3年生にとっては大きな意味合いの夏休み、2年生は・・・宿題のペース配分うまくいきましたか。今一度振り返り、よかった点、反省すべき点、やり残したことなど、来年度につながるよう書き残しておきたいですね。夏休み前の通信に書いたように、普段できないことや、時間をかけて何かをしたり考えたりすることはできましたか。

人権については多くの方がしっかり考え、作文を書くことができました。内容としては、いじめに関すること、障害のある人に関すること、戦争や平和をテーマとした作品が多かったですね。しかし、東日本大震災やプライバシー、児童虐待、犯罪被害者等々、少人数ではありましたが、あらゆる分野に渡りました。みなさんがとても幅広いテーマについて取り組んだことがよくわかりました。優秀作品については、後日、通信で紹介しようと思っています。



◇体育大会！！



9月10日(土)、晴天のもと、体育大会が行われました。クラス、ブロックの団結の見せ場です。接戦の陸上競技、盛り上がりを見せた学年演技や綱引き。生徒会演技の騎馬戦は紙風船を使うという新たな試み。白熱する中、カラフルな風船が、思いの外、大きな音を立てて割れたときには大歓声が上がりました。

スローガン「走思走愛・真っ向勝負～317の笑顔～」も十分達成できたと思います。クラスメイトを気遣いながらの練習や演技、ブロックの後輩を気にかけて引っ張った応援リーダー。そこに新たな絆も生まれました。大切にしてくださいね。



☆盲導犬について知っていますか？

8月18日、篠山市の中学生を対象にした人権学習ツアーがありました。今年は公益財団法人「関西盲導犬協会」、京都市立「ツラッティ千本」で学習してきました。盲導犬協会では視覚障害者や盲導犬についてのお話や、訓練の様子を見せてもらいました。「ツラッティ千本」では、地域の歴史や新たな人権課題についてのお話を聞きました。

みなさんには夏休み前に案内・募集をしましたが、本校からの生徒の参加はなかったので、今回は関西盲導犬協会でのお話を少し紹介します。

「クイール」という映画を知っていますか。関西盲導犬協会は、ドラマ化、映画化された「クイール」という盲導犬が訓練を受けた所です。

目の不自由な人が一人で出かけようと思ったら、目が見える人に連れて行ってもらう、白杖(はくじょう)を持つ、盲導犬と一緒に出かけるとされている数に対してまだまだ少なく、全国の11の施設で盲導犬の育成と普及啓発活動がなされています。

<盲導犬の基礎知識、知ってますか？>

- どんな犬が盲導犬になるの？
人が大好きで性格が穏やかなラブラドルレトリバーやゴールデンレトリバーが向いています。
- 盲導犬はどんな仕事をするの？
基本的には「角で止まる」「段差で止まる」「障害物を避ける」の3つの組み合わせです。
- 盲導犬の訓練は厳しい？
訓練士は「犬にとって楽しい訓練」を心がけています。
- 盲導犬の世話は誰がするの？
ユーザー(盲導犬使用者)自身が行います。食事や排泄、シャンプー、ブラッシングなども行います。
- 盲導犬は24時間働いているの？
ユーザーの外出時に歩行をサポートすることが仕事なので、それ以外の時間はゆっくりしたりユーザーと遊んだりしています。
- 目的地までの道のりを知っているの？
盲導犬は目的地までの道のりは知りません。ユーザーである人間が頭の中で地図を描き、盲導犬に指示を出しています。
- どうやって信号を見分けているの？
信号の判断はできません。ユーザーが車の音や人の流れで判断しています。

☆他のことについても自分で調べてみてくださいね。

来年度も人権ツアーが企画されるのではないかと思います。自分の人権学習として、是非、多くの人に参加してほしいですね。新たな発見や自分の成長につながりますよ。